

2020(R2)年度 新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響についてのアンケート
さがみはら市民活動サポートセンター

■調査機関:	5月5日～5月15日
■対 象:	さがみはら市民活動サポートセンター登録団体
■アンケート送信団体数:	301団体
■アンケート回収団体数:	91団体 30%
■趣 旨:	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、NPO、市民活動団体にも大きな影響が生じています。そこで、当センターに登録している団体の皆様への影響とその対応状況を把握するとともに、現状の課題や対応策を共有し、必要な支援を可視化することを目的に緊急アンケートを実施させていただきます。今回の感染症によりどのような影響が出ているのか、またそれに対してどのような工夫をしているのかなどについてご回答いただけたら幸いです。
■報 告:	お寄せいただいた回答結果はサポートセンターのHPで公開します。
■考 察:	アンケートへのご協力、そして非常に多くのご意見をありがとうございました。皆様のサポセンに対する想いもひしひしと伝わってまいりました。それに控え、こんなにも皆様のお役に立てずにいるサポセンの非力さを痛感致しました。 アンケートからは、やはり、印刷機、会議室の使用を希望する団体が多く、資金面でのご苦勞も多々ございました。また、これを機にWEBを活用して情報交換を行っている団体も見受けられ頼もしい限りです。ただ、どの団体もこの窮状を誰かに訴えたいという想いが長文のコメントとなって現れているようで、多くのご意見を頂くことができました。コロナを機に団体の皆様の活動が弱体化することの無い様、アンケートに頂いたご意見は、今後のサポセンの検討課題として対応させていただきます。 尚、緊急事態宣言が5月26日に解除になり、6月2日(火)からはサポートセンターも一部開館し、段階的に利用が可能となります。まずは印刷機・コピー機などの作業機器が使用できるようになりますが、利用時間・人数が限定されます。詳細はHP等でご確認ください。今後とも当センターをご利用くださいますようお願い致します。

新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響について	団体数	%
(1) 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、活動に影響が出ていますか？		
1.大いに影響が出ている	80	88%
2.まあまあ影響が出ている	7	8%
3.あまり影響が出ていない	1	1%
4.全く影響はない	0	0%
無回答	3	3%
(2) 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、団体の主な活動自体どのようにされていますか？		
1.活動全般を休止している	55	60%
2.活動を縮小(自粛)している	27	30%
3.通常の活動を行っている	6	7%
無回答	3	3%
(3) 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、団体の活動資金への影響が出ていますか？		
1.活動資金が大きく減少した	19	21%
2.活動資金がやや減少した	8	9%
3.今後、活動資金が大きく減少する可能性がある	18	20%
4.特に変化はない	35	38%
5.その他	7	8%
・ 事業収入の減少がみられる。		
・ かながわ生き生き市民基金より新型コロナ対応緊急対応助成金申請をさせていただきました。		
・ 神奈川県基金21からの助成金の期間延長を申請中。		
・ イベント開催、会員獲得が全く出来なくなり、収入がゼロになった。		
・ 企業から協賛やサンプル無料貸出予定だったが、企業側から辞退が相次いだ。		
・ 活動が減っても見合った女性が受けられるので、特に困らない。		
無回答	3	3%

(4) (1)~(3)の回答内容について具体的にお聞かせください。

団体の活動や活動資金に関する具体的な影響やその理由、団体の活動の利用者/参加者などに生じている影響などを、可能な範囲で具体的にご記入ください。(複数可)

◆ 影響		
1. イベント、講座等の中止	60	66%
2. 助成金事業の見直し	15	16%
3. 年間事業の見直し	53	58%
4. 活動資金の調達ができない	14	15%
5. 総会の準備や打合せができない	46	51%
6. コピー・印刷機の利用ができない	32	35%
7. 会議室や打合せスペースの確保ができない	45	49%
8. メンバー間のコミュニケーションが不足し情報共有ができない	37	41%
9. ボランティアが集まらない	5	5%
10. 活動を継続するうえでの感染防止対策がわからない	14	15%
11. その他	5	5%

- ・ 会員への情報提供のため(月1回発行)を縮小する形で発行している。
- ・ 講演会などが中止になり、完成した雑誌のPRや新たな取材ができない。
- ・ 幼稚園を訪問しての演奏をキャンセルした。

◆ 理由等		
<ul style="list-style-type: none"> ・ ①教室が確保できない、⑤場所を市民会館予定していたが、現下では不可、⑦教室が確保できない、共通：公共施設の利用ができないことに尽きる。 ・ 連絡確認のため事務局閉鎖中は週2回程度当番をおいている。 ・ 市外の編集委員が半数以上のため移動距離の問題から会議が開けず、メールでの会議を行う ・ 定例会の場所は確保できるが、メンバーに介護従事者や高齢者がおり、公共交通機関の使用もリスクが高く活動を自粛している。サポセンの利用者懇談会の中止が参考になった。 ・ 緑地の作業を密集密接を避けて行うことが厳しい。新型コロナウイルス対策で、人が集まることを避けている。 ・ 春のリフレッシュ計画は中止となった。秋も分からない。月1回の定例会は2月から中止して ・ 練習場所確保が出来ないために演奏活動に支障が出てきている。8月に予定している演奏会の可否を決めかねている。会費の回収ができない為予算不足になる可能性がある。 ・ 練習ができないため、退会者が多く出る。初心者教室が開催できないため、会員の確保が難しい。会員への情報の提供のための資料の送付など、郵送料がかかる。 ・ 私たちの会は、発達障害に伴う、子育て、夫婦の事、就労、孤独など全般におよぶ困難さ、不安、などを会って話すことを大事にしているため、会えないことは、精神的に辛いと思う。会報を出すことで、少しでもつながりを作る努力をしている。資金は会員の年会費でまかなっているが、今年度は半額からとして、会費を減額している。 ・ 4月から6月にかけて参加予定だったイベントなどが軒並み中止となり、感染防止のため会議もできません。例年5月に開催している総会も6月以降にずれ込みそうです。 ・ 会議室の利用ができずラインやZOOM Cloud Mtgで実施だが時間制約があり不充分。是非会議室や社教室が3密+消毒で使用できるよう検討して欲しい。 ・ 毎回の参加人数が少人数であれば、活動しても構わないのではと思います。20~30人の参加人数ですと、開催することは難しいかと推測します。5月17日こもれびの森イヌシデ広場で、臨時理事会を開催した。今後発表される神奈川県・相模原市の規制緩和・解除規制の内容で、当会の方針 ・ 5月のクレマチスフェアが中止になったことで、当会のメイン行事がなくなり会員の意欲に影響がみられる。クレマチスフェアで資材の販売ができなかったため、資金の調達が難しい。 ・ 8月末まで活動場所が確保できない。また、演奏会を行うことでクラスターが発生してしまったら・・と思うとキャンセルすることにした。 ・ 全然集まって活動ができない状態が続いています。会費の徴収もできていない。役員の会議も開催場所の関係で出来ない。 ・ 大野北公民館が使用できないため。すべての活動が止まっています。 ・ 本事業のコンピューター講習の開催が国の自粛要請で開催できないため、収入が無い。 ・ 感染防止策の具体策が分からない。(マスク、消毒薬の入手方法など) ・ 人が集まる総会やイベントの延期や中止を行う必要があったため。 ・ 三密の状態を作ることが感染リスクを高めることになるのが見直し、中止の理由。総会についても見通しが立ちません。緊急事態宣言下でも福祉事業知事より継続の要請が出ています。三密をさけるアクションと事業継続の相反する要請の中での感染防止対策はどうしたら良いのか、対策に 		

- ・紙芝居は人を相手に行う芸能活動なので、集会が自粛されている中、活動が難しい。また、特定の事務所などを持たないので総会準備や今後の相談や話し合いが出来ずに困っている。まずは、団体の掲示板で最低限の連絡事項をアップしている。
- ・マリンスポーツを行う活動場所が自粛要請でオープンしていないため、活動自体ができない。いつ環境事態宣言の解除がかわからないため、募集ができない。
- ・特に影響はありませんが、会合を電話、SNSに負っています。
- ・3密の自粛。
- ・活動を中止せざるを得ない。
- ・活動自粛のため。
- ・不要不急の外出の控えにより外出が出来ない為、ミーティングやことばの道作成のための現地調査ができず、もっぱらメール等による連絡のみで活動を維持している。
- ・家賃が払えなくなりそう。従業員への給与支給が難しくなりそう。子どもたちが家にずっといることで、益々、家からでなくなってしまうのか。家庭内での虐待が増えてしまうのではないかと。
- ・団体の事務所を4.5月閉鎖する。団体事務所以外でのイベントも会場利用できないなどで中止。
- ・対面での学習指導が、効果があるから。
- ・体操の活動は指導や補助の場合、身体接触が必須であるため今後の活動には支障が大きい。
- ・5月7月に実施予定のイベントが中止になり、その後の企画についても話し合いをすることができな
- ・事務局を置くユニコムプラザの臨時休業により組織の維持継続にかかわる重大リスクが生じてい
- ・活動の自粛やボランティア活動での病院、施設での面会(高齢認知症等患者)が出来ない。
- ・イベント開催がなければ会場費等の当面の出費はありませんが、唯一の活動資源であるイベント参加料はまったくはらず、準備や各種連絡等にかかる費用、会場のキャンセル料でも満額返金が補償されない分はもち出しになります。将来的な活動展開のための準備やそれに伴う費用(歌集作成費やJASRAC著作権料など)の支出はかなり大きい金額なので、今までの資金準備計画で考えていた目標時期を年単位で先送りするか、辞めるしかありません。
当然のことながら継続的にやってきた合同練習もできず、個人で練習をしてもレベルの維持は難しく、団体としての技術面の向上は望むべくもありません。再開したとしても従来の参加者数が期待できるかどうかの見通しはたえず、活動計画の立て直しです。一番のネックは団員のみならず、イベント参加者のモチベーション、意識の高さの維持が難しい事です。何にしても団員も参加者も高齢者です。
- ・これまでの生活困窮世帯だけでなく、新型コロナの影響で、困窮していなかった世帯へも影響が徐々に拡大してきている。そのため、それに対する必要性が出始めている。
- ・自治会に協賛をおねがいしたいが、説明会が開催されない。
- ・コミュニケーションを取ることが難しい。活動のスペースが見つからない。
- ・打合せが全く出来ない(集まらない)。イベントがほぼ全面中止なので、ポータルサイトにのせる記事ネタがない。記事は、市の発表などコロナ関係の記事中心になっている。
- ・けやき体育館を活動場所としているため、利用できないので活動が不可能。他の場所も、「三密」を避ける要請が出ているので軽スポーツを行う事ができない。今後利用できるようになれば、年間の回数は減少するものの、定期的に計画の通り実施していきたいと考えている。
- ・市の施設を利用しているので、閉鎖期間中はコーラス練習場所がない。コーラスの練習は、防音効果のある密室で皆が集まって声を出すことが必要であるが、これはコロナ防止に反する。
- ・会議はオンラインで可能だが、市立図書館が閉館しているため絵本の調達に不便を感じている。手持ちの絵本以外を使用したい時、待たないといけない。
- ・感染予防の為、利用者からのキャンセルが相次いだ。感染予防の為、利用人数の制限を行った。スタッフからも感染に対する心配の声があり、休み希望が出た。
- ・会場としている施設の閉鎖で何も進みません。オンラインで出来ることを検討中です。
- ・自宅を開放しての活動であり、様々な方の癒し・対話の場所として飲食も提供しているため、どの様に配慮して継続していくのかを思案中です。

(5)活動をすすめる上でどのような対応や工夫をされていますか。可能な範囲で具体的にご記入ください。他団体にも参考となる取り組みがあれば教えてください。(複数可)

1. 理事会や総会等会議開催の工夫	20	22%
2. 緊急寄付の募集などの財源確保	2	2%
3. 換気や消毒など活動の際の工夫	13	14%
4. 密閉、密接、密集のクラスター防止の工夫など	19	21%
5. その他	7	8%

◆活動をすすめる上での対応や工夫

1. 理事会や総会等会議開催の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ・メールやグループLINEで意見交換し、電磁的議決している。 ・理事会などにオンライン会議で対応する(今後)。 ・理事会・総会は書面審議の形をとっている。 ・全てメールでの意見交換にした。 ・場所確保ができない為開催できない。 ・ラインで連絡を取り合う。 ・総会は、定款による「みなし総会」(文章による)で、実施。 ・総会は書面会議とした。 ・書面総会を行う予定。 ・書面総会として実施。 ・webによる総会の開催、webによる連絡網の利用。 ・総会についても見通しが立ちません。 ・メールのやり取りで情報を共有することにしているが、中々伝達することはメールが良いが検討課題などでの意見交換や意思の疎通が、非常に難しく、会話の必要性を感じる。テレビ会議などが出来るとよいと思われる。 ・スカイプ。 ・オンラインで開催。 ・委任状の活用。 ・理事会等会議開催し活動方針や対策を講じたとしても公民館をはじめ開催可能な場所が全くないため紺フォの方針を決めることができず、重要項目に限ってやむを得ずレストランや喫茶店で開催している。(閉鎖空間での開催のため常にびくびくしながらの開催です) ・zoomを利用して会議を行っている。 ・メール・電話等での情報交換。 ・書面総会、オンラインTV会議システムを使った会議。 ・総会は書面で行った。 ・ZOOM会議にて開催予定。 ・面談が出来ないので、FAX・文字や電話等を最大限活用して理事・監事に連絡をとる。
2. 緊急寄付の募集などの財源確保
<ul style="list-style-type: none"> ・国、県への協力金申請。会員に寄付を募る予定。 ・団員から臨時で回避を取ることが出来ない。 ・会員に呼びかける。 ・会費が未徴収だが徴収可能だと思うので現状問題なし ・秋以降に活動が再開できれば行いたい。 ・特に早急に困ることははないが、事業が出来ないので、会員の要望に応えにくく、検討課題 ・クラウドファンディングを検討したい。国、県のコロナ対策助成金の申請を検討したい。 ・相手企業もコロナで影響を受けてお願ひにくい ・寄付をお願いした。
3. 換気や消毒など活動の際の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ・ショップの入り口を開け、店頭に消毒液設置。レジ、カゴ、取手などを頻繁に消毒する。 ・緊急事態宣言以外の期間は、工夫してハンディキャップ運行を継続した。 ・マスク、消毒液をメンバー一人一人に行き渡るようにした。 ・3密が難しいので最重要会議のみ小人数で会議実施。 ・こまめに換気を行う。 ・講演会。講演会が主な活動だったので、3密になりやすく、工夫のしようがないと思われ ・国や県からの通達通りにやっています。 ・事務所内は消毒、換気は励行した。 ・総会資料はいつも1か月前に配布しているが、今回は特に事前に念入りに読みこんで頂きたいため、2度連絡を発信。食事を伴う総会を変更。外(駐車場)で総会を開催する予定(5月17日)。

4. 密閉、密接、密集のクラスター防止の工夫など

- ・ボランティアに休んでもらう。スタッフのみで時短営業。昼食は時間差または距離を置く。
- ・車の換気に心がけた。
- ・3密、マスク、消毒、ソーシャルディスタンスしかない。
- ・何とか活動を開始するために、5/17臨時理事会を開催し協議した。
- ・屋内での打ち合わせは行わない。
- ・人数を減らしての活動を考え中。
- ・国や県からの通達通りにやっています。
- ・イベント、会議を中止。

5. その他

- ・会員同士のメールや電話での意見交換。
- ・クレマチスフェアが展示会が中止で残念だったが、花の展示の代わりに写真をSNSで見せ合ったり情報交換などを行っている。
- ・体育館など市の施設の利用ができるまで我慢です。
- ・Lineを使用し、最低限の情報共有をしています。
- ・役員打合せはライン会議などで、活動は少人数により分担して進める。
- ・ストック記事、新しい特集記事などを工夫して、会報発行の継続。
- ・ただただ人々が動き出すのを待つのみです。その間、近い将来どのように社会が変わり、またグループとしてどう変わらなければいけないかを日々考えています。
- ・スタッフの在宅ワークの取入れ。
- ・今後活動を再開できるか否かはコロナ終息次第。
- ・緊急課題なく、且つ、活動の場所確保が出来ない為休会として対応策実施していない。
- ・一部の会員だけではあるが、メールにて連絡しあっている。
- ・将来計画のための準備をこの期間中に具体化して少しでも立ち上がったからの準備期間を短くしようとしています。ネット環境にないシニア層がほとんどなので、メールや”電話訪問”が可能な人には健康状態確認等も含めてつながりを維持するようにして、モチベーションを下げないように課題共有をしています。
- ・対面形式で行っているドナー登録会の方法について検討する予定。
- ・話し合いを中心とする活動ができないため、そこで持ち上がる予想される話題・課題等に関する書物を15冊読み、その内容の一部分をパソコンを入力し、あごら「老いのプログラム：自主研修資料」を作成した。不特定の参加者にも手渡したいが無理なので、主に会員を中心とする活動に切り替えた。
- ・活動会場の基準に従っている。
- ・オンラインの活用。

(6) どのような支援が必要ですか？

現在必要な支援や今後必要となると思われる支援について具体的にご記入ください。

サポートセンターに期待すること。行政、企業、学校、他団体など、支援を求めたい対象も可能な範囲で記載してください。

- ・ 家賃補助(3店舗で1ヶ月70万円) 長年、市で活動を進めている市民事業、NPOの活動は、コロナ後の社会においても重要な役割を担うこととなります。1団体も失うことがないように、(支援金を含む)市への働きかけをお願いしたいです。
- ・ 印刷機の使用を認めてください:一人で作業できる。
- ・ 印刷機の利用などを制限をつけての利用ができないか検討して欲しい。
- ・ 講座や会議はZOOM等を使いリモートで行えるが、年齢層が高い団体はネットやパソコンが苦手なため、その面でのアドバイスや支援をしてもらいたい。
- ・ ボランティアメンバーの確保が必要です。
- ・ 早く活動できるように市の施設等の開放をして欲しい。
施設等が使えない等の判断がギリギリなので活動再開の目途が立たない。
活動の主であるボランティア演奏が早く始められるようになれば良い。
- ・ 道場入口への消毒液の設置。
- ・ 今期の隊員募集活動が現在できないので、回復後には市内小学校に募集チラシ配布などの協力を頂きたい。
- ・ ①会議室の利用。 ②印刷機の利用。
- ・ 会議室・フリースペースの再開。
- ・ サポセン:会議室や社教室が利用できること。
- ・ 当会の活動に対する指導が、どのように市から文書などで示されているかが、わからない。今後忖度するにしても、方向性はある程度見えるよう指導して欲しい。
- ・ サポセン自体も、大変な状況に置かれていると思います。団体として協力できることがあれば、お声かけ下さい。
- ・ せめてサポートセンターが利用できれば役員会などを開催できるのですが、それも今は出来ない
ので、制限付きでも良いので利用を可能にしてほしい。
- ・ 大野北公民館の使用。サークル再開時の注意点及び消毒液の設置。
- ・ 国の休業給付金がもらえるか知りたい。
- ・ 市の施設を主に利用していることから、施設の利用が再開することを期待しています。また、感染予防の具体策を提示してほしい。
- ・ 通所及び居宅系の障害児者福祉事業をしております。マスク及びアルコール消毒が徹底的に不足しています。小さい法人のため、自力での調達が出来ません。単発ではなく、少量でも良いので定期的な補給(購入・配給)を受けられると非常に助かります。
- ・ 現在、活動の方向性を検討中の為、思い当たらない。会員会費が主財源の為、活動しないことによって会員の減少から財源が不足する場合は、存続も検討に視野にいれる事になると思われる。
- ・ 集会やイベントの開催が可能になったときに必要になるノウハウが知りたい。
- ・ 行政が用意するコロナ禍のための補助、助成など様々な補てん策を利用したい場合、問い合わせや相談が現在大変込み合っているようです。助成利用を希望する団体に説明会や相談会などを実施して頂けると有難いです。
- ・ すでに民間助成金については、計画変更の手続きをして日程、開催回数などを縮小した。
- ・ 行政からの支援・感染防止の対策など、情報の提供。
- ・ 活動資金の援助、練習場所、会議室等の確保。
- ・ 行政、企業、教育、そういった枠組みにとらわれない想像を越えた支援といいますが、サポートセンター独自の理念に基づいた支援が、私ども団体の支えになってくれるかなど。
- ・ 少人数(人数を制限して安全に)で打合せの場所がほしい。
- ・ コロナ禍の影響で予定していた活動が実施できず、資金調達できない状況です。固定費等に使用できる給付金や助成金を準備・提供してもらえると非常に助かります。
- ・ 活動自粛のため具体的な必要な支援が見えてこない。サークル活動よりもまずは日常が戻って欲しい。

<ul style="list-style-type: none"> 私たちの活動の主体は「ことばの地図」制作で、これには現地調査が欠かせない。外出自粛が解けても夏場は、暑さ対策が必要となる。体力的にも力のある若い人にボランティアを求める。学校や他団体に、活動に賛同して一緒に欲しい。サポートセンター、行政には消毒液などの手配に力を貸してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> 公民館等の会議場所、会報の印刷場所の提供をぜひお願いしたい。弊協会の活動は野外活動のため、三密については比較的対応可能であるが、いかにせん活動方針を決め、それを周知するための手段が制限されているために活動を自粛しています。 消毒液等の入手が難しいため、在庫切れの不安があり確保を助けてもらえると安心できます。 資金の確保。今後の見通し(療や企業の動き)。
<ul style="list-style-type: none"> 当団体は協同組合であり、NPOでもない。行政からは中小企業に該当しないのでコロナ支援の対象ではないといわれている。このような時期には協同組合も助成の対象にして欲しい。 行政に求めたいこと: 水害以前から、森副市長との面談スケジュールが組まれていたが、水害に続き新型コロナの影響で進んでいない状態。新型コロナの終息と行政の動きが見えてきた段階での打合せをしたい。
<ul style="list-style-type: none"> 早く会議室が使えるようになることを願っています。 公共の会議室が8月末まで使えなくなり、本当に困っている。どこか民間の場所でも良いので、子どもたちが勉強できる場所を紹介してほしい。 コピー機とフリースペースを開放してほしい。少数で良いので打合せをしたい。 今のところ支援は必要ありませんが、今後事業再開の時に消毒剤等の支援が必要かもしれません。
<ul style="list-style-type: none"> 今後コロナ終息後、イベントや講座の開催について(場所の提供や集客など)、市民活動に対しての補助金など。 ①事業継続計画(BCP)の策定支援。②事業再開に向けた感染予防対策の情報提供。 来年度、行政との協働事業を目標に申請を行っているが、一民間団体では限界がある。 印刷機器の利用、活動再開時の市民へのアナウンスを市内メディア経由で周知させたい。 フードバンクに対する行政の活動資金支援。
<ul style="list-style-type: none"> 活動は周辺自治会の資金協力で成り立っており、行政から自治会に支援の後押しをお願いしたい。
<ul style="list-style-type: none"> 高校生に骨髄バンクについての講演会を開催したい。骨髄バンクを通して命について考えてもらう機会になります。あたりまえの生活がどんなにありがたいか、今だからこそ伝えたい。 今後の具体的な対応や工夫など・会場等の確保。 コロナが落ち着いた後のことですが、団体の皆様の情報発信により積極的に取り組む所存です。よろしく願います。
<ul style="list-style-type: none"> 緊急事態宣言が長期化する場合の、事業助成金の補填など。 活動場所を一律に利用不可にされると、本当に動きが取れない。今後、「新しい生活様式」の考え方を取り入れ、利用者が十分に考えたうえで施設の利用を行うという、柔軟な姿勢もありではないか。「場所の確保はできる、参加は利用者の状況に応じて個々が判断していく」形式になるような行政への要望を伝えてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> 子ども食堂開催時のガイドラインを作りたい。 食事の提供は無理でも、屋外での食材の提供(お菓子やパン等)は問題は無い。 公民館などで開催する場合、既に8月までの事業中止が出ており目途が立たない。 サポートセンターを利用再開する際に安心して利用できるよう安全対策にはご留意頂きたい。 公共交通機関を使った人の移動の許可。会場とネット環境を併せて欲しい(サポセン環境)。条件付きでも良い。
<ul style="list-style-type: none"> 安心・安全は第一であるけれども、緊急事態宣言解除や相模原市などの状況などをよく見たうえで、イベントの中止を判断して欲しい。既に桜まつりが中止され、サポートセンターや行政・他団体のイベントが中止されると、当会の相模原での助成金事業活動に多大な影響があります。活動期間を2021年度まで猶予して頂くなどのご配慮をお願いしたいと思います。 補助金など運営費をすぐに利用したい。 家賃・駐車場代・人件費などの固定費に対する支援を、緊急事態の期間、継続的に支援していただきたい。 まだ見通しが付きませんが、オンラインで進められるか検討集です。 オンライン会議の進め方に関する支援。 活動再開時に、メールでお知らせをお願い出来ましたらと思います。

その他

その他、現在の状況についてご意見があればお聞かせください。

- ・ 私達のボランティア活動が人との接触を伴うものであるため対応には慎重さが求められますが、利用者の方が困っている現状では答えられないという状況にあります。
- ・ STAY HOMEで片付けや調理のゴミが増えている今、ごみの減量を伝えていくことが必要。苦手意識を持たずにネットを活用した情報発信とメンバーとの情報共有を行いたい。
- ・ 活動に参加される中高生が電車に乗ってくることに問題を感じるので、時間をずらして集合する場合など電車の込み具合の判断基準があれば参加判断ができるのではないのでしょうか。
- ・ 感染が減少し学校や図書館など普通に帰れば利用者の移動も増えると思います。現状は忍耐あるのみです。
- ・ クラスターの危険が生じるので、現状では道場の閉鎖はやむを得ないと考えるが、練習できないことへのストレスの蓄積、運動不足による健康被害等を、そろそろ考慮していただきたいと思う。道場入口前の手洗い、検温、マスクの着用などを徹底することによって、回避できるのではと考えます。
- ・ 今は会の活動を控えて感染拡大を阻止することに専念し、会員各々で勉強したり、新しいことを考える時間にして行けたらと思っています。
- ・ 会費を集める時期であるが、活動が停滞しており、会の存続意義が問われ、退会する人が多く出ることを心配しています。
- ・ このアンケートが出された時点では、5月13日までが休止期間となっていました。その後8月31日までと延長されました。この通り実施されるとすれば、およそ6か月間の休止状態となります。貴センターはじめ、公民館、市民会館等々の市民活動の場が全て閉ざされています。そこで、相模原市に対して、何らかの方法でそれらの施設の利用ができる方策を検討して欲しいと願います。また「サポートセンターに期待すること」ですが、特に次の2点についてご検討いただければ幸いです。(1)コピー、印刷機の利用ができない (2)会議室や打合せスペースが確保できない→(1)については、例えば電話での「時間予約制」として、1団体2~3人程度に限定しての利用を可能にすることはいかがでしょうか？ (2)についても、利用時間・人数などを制限して開放して頂ければと思います。利用時間は1時間以内とか人数は10人以内とか・・・いずれにしても、多くの市民活動が滞っている現状を少しでも打破して頂きたいと思います。よろしくお願いします。
- ・ 会員には高齢者が多く、COVID19には慎重な対応が望ましいと思える。Stayhomeを続ける以外手はない。こもれびの森の中にも、市民に新しい生活様式を守るよう(一般的な公園内でも)指導して欲しい。マスクなしに対する激しい視線もあるのだ。
- ・ 私たちは子供をもつママさんプラスの団体です。まずは学校活動(幼稚園・保育園)の再開が通常通りに戻らないと活動は難しいと思っています。分散登校・時間短縮等々学年や学校により様々になるかと思えます。その中で決められた場所・時間内で大勢の人が集まって演奏するのは難しいと思っています。また、大勢の人が集まるので「密」の心配もあります。母親(主婦)が感染して体調不良になると家族にも迷惑がかかります。無理のない範囲で活動を少しずつ再開できれば・・・とは思っています。
- ・ 現在、5月中のおもちゃ病院の開院をすべて休院しています。各家庭において自宅待機を余儀なくされ、おもちゃが壊れて困っている方もおられると思いますので、6月以降は病院を開院できることを期待しています。
- ・ 緊急事態宣言が出され、三密を避ける要請が出ている反面、私どもの行う福祉事業は知事より事業継続の要請が出ています。スタッフは、日々感染の恐怖に晒されつつ利用者へのサービス提供に頑張っています。感染者が出てしまったら法人存続も危ういですが通所はまだしも生活している利用者さんは行く当てがありません。また、行政からは様々な情報・通知がでますが、情報に溺れそうになり、それらを理解する余裕もありません。各所行事、イベントは中止。総会はどうしたらよいか。コロナウイルスと戦うためには、うがい・手洗い・消毒第一ですが、そのためのアルコール等物資がありません。この状態がいつまで続くのかという不安が強いです。
- ・ とにかく、市の施設が一日も早く使えるようになってほしいです。運営のための会議や、学習会、展示会などに使う場所がなければ、私たちの活動は成り立ちません。
- ・ 市立図書館での定例の紙芝居会には固定のお客様が多く来てくれた。その地域のお客様に向けて周知するために、団体のホームページで活動を休止していることを宣言した。団体の構成員は大半を高齢者が占めているので、まず一番に活動中止することを決めた。今後の事態を見ながら、再開に向けては相当配慮することが必要だと考えている。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害福祉の活動及び事業を実施しているため、市内の感染状況がわからず困ることがあります。個人情報保護や人権を考えつつ、会員（利用者）、従業員を守ることが相反することを痛感しております。厚労省・県・市からの情報が膨大な為、会員（利用者）・従業員にこまめに周知出来ずにいるのが反省点です。サポートセンターの皆様もどうぞご自愛くださいませ。再会を楽しみにしております。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 相模原市といっても、都市部と郊外では環境が違うので、一律に事業の制限を設けるのではなく、具体的な考え方を整理し、提示して欲しい。また事業が継続できるように、特に運営面での資金援助をお願いしたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの発達障害に悩む保護者の拠り所としての活動をしてきただけに、この自粛生活が子育てにどう影響するのか、密閉された空間で子供と向き合うことで課題は大きくなるのではないかと危惧しています。現在は参加者に近況を伺っていますが、心配な方程返事がありません。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回のコロナウィルス禍は、社会構造の見直しにとって良い機会となるでしょう。しょうがい者にとってどのように生活していくのか、それに対する社会的な支援をどうするかを考えていきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ このような時期には「サポートセンター」のような組織のありがたみが身に染みる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 8月末までNGとは慎重し過ぎると思いますが？
<ul style="list-style-type: none"> ・ さがみハート展開催は11月26日～30日なので新型コロナウイルス感染は終息しているものとして、ハート展役割分担、詩の募集等を開始している。但し、巡回さがみハート展は会場閉鎖のため中止している。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 今現在8月いっぱいまでの全てのイベント・講座・定期会合等の活動が中止とまっている為、これ以上長引くと来年の活動にも影響してくる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議などが開けないので、Zoomを使つてのWeb会議を行えるようにしています。
<ul style="list-style-type: none"> ・ ユニコムプラザさがみはらでの共同イベントが2回中止になり、先行きがみえず全くの不安です。コロナ終息がなかったとしても、集団で集まり調理するようなことは不可能かと思うと不安しかありません。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局を置くユニコムプラザさがみはらの臨時休業によって非常に厳しい状況に置かれています。「相模原市に強制休業を強いられている」というメンバーや「感染者が出たことによる閉鎖ですか？」といった関係先からの確認連絡へのへの対応にも苦戦しています。破綻、崩壊寸前です。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 助成金だけでは限界があるので、企業や大学からの資金や人材の支援が急務である。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康維持のために歌ってもらっていますが、ネット環境もないシニアが多く、たとえ連絡方法がある方にしても、対面できない現状ではその方たちを元気づける手がありません。収束まではこちらで積極的に打つ手はないにしても、その後の活動はいち早く元通りに(にできるかぎり近く)したいという期待がよせられています。
<p>何らかの形でできそうなことがあればお知らせ下さい。大変ですが、できる協力はしたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。センターの方々もご自愛ください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ いつ活動が再開されるか不安である。今後の具体的な対応や工夫などを知りたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ関係の記事へのアクセスは多いです。特定定額給付の相模原市での準備状況の記事には、2万件のアクセスがありました。次亜塩素酸水の無料配布の記事も、7000件位のアクセスがありました。地域情報ポータルとしてお役に立てたかと思っています。がんばります。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい者の余暇支援活動は、一切できない状態です。他のグループで水泳活動を行っているが、そこも使えない。更衣室への時間差入場制限などをとりいれ、更衣室での「三密」を避ければ、塩素たっぷりのプールなど、活動できないはずはないのに・・・、と考える今日この頃です。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度から公民館での開催を止め、自治会の集会所を借用しての「開催を計画しているが、緊急事態宣言が終息するまでは利用自粛しており、活動できない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回のコロナウィルスの影響による外出自粛により、人と接する機会が極端に減り、改めて人とのつながりの大切さを実感しています。今は活動できない状況ですが、生きがいある人生を送りたいと実感している方々のお役に立てるよう、今後も活動を継続していきたいと思っております。活動の再開の際には引き続きご指導ご鞭撻の程、宜しくお願いいたします。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の休校や分散登校の決定が直前に発表されるため、利用や送迎の再調整が必要となり、事務作業が増加。結果残業が増え、財政面を圧迫している。
<ul style="list-style-type: none"> ・ まだ見通しが付きませんが、オンラインで進められるか検討集です。
<ul style="list-style-type: none"> ・ モンステラに来て下さっている、ケアラーさん・地域の高齢所の方々に電話やメールで時々連絡しています。また逆に連絡を下さる方もおられありがたく思っております。